

令和8年度第3回芽室町総合計画審議会(専門部会) 議事録

令和8年6月2日(火) 18:30~20:30

役場2階 会議室7、8

出席委員(7名)

嶋野部会長、平谷副部会長、阿部委員、江口委員、佐藤委員、中村委員、平岡委員

欠席委員(3名)

宿谷委員、丸委員、高橋委員

開会

議事

① 上下水道の整備

事務局より説明。

委員

施策の主な内容(1)の「一部の区域について上下水道を統合」の具体的な内容を知りたい
水道課

一部の区域は美生簡易水道(嵐山から北側に向かって市街地手前まで)を指す。

この上水道の統合を計画している。

施設と管路の老朽化が原因。

上水道から水を引いて、美生浄水場をなくしていく意向。

委員

浄水場をなくすとは自然流下から持ってくるのか？

水道課

嵐山にポンプ施設を作り、くみ上げ嵐山の上から自然流下。

エネルギーと薬品を節約できる。

今は上美生の浄水場で水を作って配っている。上水道の水を配ることで、統合していく計画。

委員

今の浄水場は残す？

水道課

上美生の浄水場を残す。美生の方をなくす。

委員

経常収支比率について、現状値102.09であり、過去10年で見ると100%を超えているが、低下傾向にあるのは、コスト増によるものか？

水道課

コスト増によるものである。上水道は100%超えを維持しているが、下水道は100%を切る場面が増えている。老朽化対策も費用がかかる為、料金改定を含めた適正化を図り、健全な運営の視覚化のために記載。

委員

現状の料金の不足はどこで埋めているのか？

水道課

上水道は繰り入れなし。簡易水道は繰り入れあり。下水は公共下水道と集落排水、個別排水処理があり、集落排水の中で上美生は人数的に費用対効果が出ない為、繰り入れあり。個別排水の部分も繰り入れしている。

委員

どこに住んでいても同じサービスを受けるための税金という捉えで良いか？

水道課

基本は独立採算だが、郊外だと厳しいのでライフラインとして繰り入れをしている。

委員

独立という部分を強調するが、そこから民間委託を考えていく流れなのか？

水道課

改修の為のハード対策等あるが、水分野の官民連携やウォーターPPP も国から推奨されている。推奨されている取組から活用できることを研究していく意味で記載

委員

上水道の有収率が高いが、石綿管から配水管への取り換えはいつ頃？

水道課

更新は令和5年に全部完了・

そのおかげで有収率が高く推移していると考えられる。

委員

他の市町村と比べて有収率は高いほうなのか？

水道課

一般的に95%が自治体としての目標と言われている。

本町が 94.4%なので、高めに推移していると思う。

下水は他多町村より低い

委員

下水道の有収率はどう計算しているのか

水道課

処理した汚水のうち使用料で徴収されているものを率で示している
地下水や雨水が侵入したもの等の不明水はお金を徴収していない部分もある
その部分を機能保全のなかでどう指標にしたらいいか。
下水だと不明水が入ってこないようにしたり、上水は漏水等を意識して、この指標を設定。

委員

上下水道の整備も費用がかかることから、短期で大きな変化が起きにくいイメージがある。
その中で、4の成果指標①②は計画的に行うため、これを成果指標にすると計画通りに進んでいるが、評価は毎年達成できない状態になってしまうのでは？(意見)

委員

取組部分の健全な料金改定となっているが、料金改定を目指してやっていくように見える。
料金改定より先に工夫できることがないのか？
下水で 91.65%を100%にすることが今行うことなのか？
住民負担を減らす工夫を進めてほしい(意見)

② 消防救急の充実

事務局より説明。

委員

救急の話で、救急出動の件数が1000件を超える予想だが、中身を教えてほしい。事故なのか疾病なのかデータを把握しているか。

消防署

統計は救急係がとっている。

委員

医療介護連携で ICT の利活用が進み、今後救急にも入ってくると思うが、取り組み状況は？
病院と連携をとったり、基礎疾患がどういふのがあるのか情報を活用したり、そういった動きがあるのか？

消防署

消防としてはないが、救急救命士は病院実習がある。
公立芽室病院で行っている訪問看護に、昨年からは職員と一緒に伺っている。
そういったところから少しずつ携わっていきたい。
高齢化社会になり、出動も増えるので、消防としても病院の取組に協力していきたい。

委員

住宅用火災報知機の設置率はどうやって出しているか？

消防署

世帯数から数を調べている。

国の指針で、茅室の規模だと9999世帯以下のくくりで、24世帯の設置数を判定して算出する。

24は少ないので、40から50の調査結果を基に算出している。

委員

救命講習会は年何回？

消防署

令和7年度は普通救命講習29回。入門講習1回。救急法講習13回。計43回。

令和6年度は37回。

委員

3番目の施策(2)の救急に役立つアプリとは？

消防署

アプリ関係は色々あるが、状況を伝えて会話できるものもある。

どれがいいかこれからお示しできればと思う。

委員

今の消防署は建て替えの計画あるのか？

消防署

(3)下段に書いてある通り、45年目に入っている。

平成23年に耐震工事をしたが、庁舎自体の耐用年数が変わったわけではない。

国の基準は50年と言われているので、今回の6期前期のうちに方向性を決めたい。

まだ計画はないが、今期のうちに定めたい意味で文言をいれた。

委員

5期の計画の中で山岳救助隊の設置について、今後増えていく懸念を記載していたが、今回は山岳救助隊に記載がない。どの程度出動しているがわからないが、あまり動きがないのであれば記載しなくて良いと思う。

初心者が少なく、救助必要があまりない上級者が多いのであれば、救助隊の設置も最小限だけで良いが、これから初心者が増えるのであれば、今回のに記載してもいいのでは？(意見)

消防署

それも含めて「大規模化、激甚化、複雑・多様化している災害に対応するための施設・車両・装備の計画的な整備・更新」の項目にまとめてしまっている。

実際の活動としては、山岳隊と水難隊を編成している中で、山岳隊がトムラウシで2件発生。
昨年度から十勝管内で要請があれば出動することになっており、到着前に終了しているから実際の活動はない。

委員

住宅用火災報知機の設置率を10%上げる目標に対して、以前に家庭訪問が業務により難しいと聞いた。今回は施策を何か考えているのか？

消防署

現在、女性が構成する部署が火の元の確認を行う等を目的に住民を訪問している。
その確認項目に火災報知器の設置を追加した。
町内の催しで防火を呼びかける活動をしていたが、去年から火災警報器の見本を置いたり、周知を図ったりしている。
モデル見本を今年は作り直したところであり、露出を増やしていくことを昨年から行っている。

③ 親切・便利な行政サービスの推進

事務局より説明。

委員

海外からの移住であったり、働きたいのような対応は増えている？
日本語が苦手な人への対応の準備は？

住民税務課

外国人の労働者の転入手続きは時々見受けられる。
日本語話せる人がついてくるケースが多いが、日本語が話せない人単独で来るパターンもある。
その場合は、携帯で翻訳を通して対応したり、日本語がわかる人に電話して、窓口で手続き行うケースがほとんど。
わからなくて手続きができなかったというケースは今のところない。

委員

成果指標①②の現状より低いことについて、昨年の意見への回答内で既に高いものは80%以上で良いという認識については自身も同意している。
ここの目標としている文言は内輪的だが、P10の芽室を好きな町民の割合の部分は現状94%から95%以上を目指すことにしている。内部に求める部分は低め、町民の部分は高めにしているのは整合性がとれているのか伺いたい。理由を聞きたい。

総務課

芽室町としては、最低8割の水準を維持していく意向で入れている。
しかし、他のところとの整合性については持ち帰って整理したい。

委員

デジタル化について、「ちくわ」という町内会システムが存在する。これを活用し、回覧板のデジタル化や安否確認などを進めれば、郵送費の削減や行政事務の効率化にも繋がると考えている。役場の既存システムとの連携も視野に検討してほしい。

総務課

デジタル通知に変えていこうという動きを現在行っている。

町内会の動きにも呼応できるように、デジタル化・デジタル通知を広げていけるよう役場として、率先してやっていきたい

委員

HPについて、知りたいことを見つけるまでに時間がかかる。

LINE の子育てについては言葉がかみ砕かれているが、HP では専門用語に馴染みがなく、知りたいことを調べるのが難しい。たどり着いた先の情報はわかる（意見）

総務課

令和2年にリニューアルしたが、ライフステージに合わせて探そうとスタートしたが、なるべく住民の入り口を整備したが、部署をまたがって支援する場面についてはわかりづらいかもしれない。

好みの問題もあるが、担当課長に伝えておく。

委員

住民意識調査の「役場の対応」の項目について、住民意識調査の回答者が窓口でサービスを受けていない場合もある為、実際に受けた人がどう感じたかをアンケートとったり、タイムリーで見れたほうが良いのでは？

ホットボイスもあんまりよくない声もあり、対応がどうだったかわかるようなものがあればと感じた。（意見）

住民税務課

住民税務課の窓口で書かない窓口を昨年からはじめた。

それに対する実際に受けた町民に QR で答えてもらうものを実際に行っている為、技術的には可能である。

委員

窓口で編入者は手続きに時間がかかっていると感じるが、実際はどうか？

住民税務課

家族構成によって手続きが変わる。

高齢者や子供に関わる課が多くなれば時間はかかる。

2時間強を超えるパターンもあり、書かない窓口が進み、時間的には差があまりないが、何回も同じ内容を書くストレスは減ったと考えている。

時間については限界がある部分もあるが、町民になるべく負担がかからないような仕組みに現在進めているところである。

④ 住民自治の実現と地域の活力の維持

事務局より説明。

委員

成果指標の現状値が R3 だが、直近の数字はあるのか？

魅力創造課

策定の際は最新値に変える

委員

町内会の機能変換(イベント型→課題解決型)について、意味を教えてほしい。

魅力創造課

町内会は、昔は地域のほとんどが加入して、交流メインのコミュニティ的なイベントが多かったが、現状は加入率が50%をきるような中で、人の集まる目的も変えていかなければと思う。

目的自体を介護や災害等の住民が抱える課題解決型に変えていかなければと考えている。

委員

介護や災害等に町内会が介入するということか？

魅力創造課

そういう意味合いではない。

現在、町内会はエリア分けされているが、芽室病院を支える会のようにエリアに関係なく、目的をもって集まるコミュニティという発想が必要と考えている。

町内会そのものというより、目的をもって集まるコミュニティへシフトするイメージ。

まだ検討段階である。

委員

人口の経過を見ると、当初予想したよりも高齢化率が増え、子どもの数も減ってきている。

将来の人口推移も変わるのかなと思う。動向について。

政策推進課

総合計画を作る際の、人口推計という別のところで策定している為、ここでの記載はない。

委員

高齢化によって集まる要件が変わるかなと感じた。

政策推進課

別章で定めている。

委員

行政のコーディネート機能強化の「地域担当制度の新たな機能と役割」について。

地域担当者にさらに機能と役割を付与するのか、別で見直しをかけていくのか。

魅力創造課

地域担当制度ができた時は、地域＝町内会みたいなニュアンスであった。しかし、当時から地域に住んでいるが町内会未加入の方もいた。その為、対象は地域に住む人全員という認識は変わっていない。

9割以上が町内会に加入していたこともあり、町内会のパイプ役という側面が強かった。

現在は、50%以上の未加入者に対してどのようにアプローチしていくかが課題であり、情勢の変化によって住民自治の見直しも含みながら、在り方自体も見直していきたい。

委員

具体的にはない？

魅力創造課

ない。町より町内会や連合会の意向がメインになると思う。

その中で役割が変わると考えられる為、まだ詳しくは決まっていない。

委員

(4)公共サービスの在り方の見直しについて、有償ボランティアの単価を見直してもらいたい。(意見)

魅力創造課

総合計画の枠組みの中で、細かい記載は難しい。

行政が担っていたものを町内会や町民に請け負ってもらうという発想で始まったが、町内会の人数減少や高齢化による担い手不足もある。

料金問題の前に、行政サービスの担い手がそもそもいないところは、町が直営か他地域の人を探すかになる。

単価や制度自体の全体的な見直しが必要と思い記載した。

委員

地域集会施設の再整備について、農村部の方から進んでいると思う。

公共施設管理計画に入っているのか、今回含んでいるのか教えてほしい。

都市経営課

ほかの施策に移している。「有効な土地利用の推進」という都市経営課の所管になる。

公共施設の組課的・効率的な配置に移動している

委員

(2)の将来を担う人財の育成について、市民ファシリテーターが計画内の名称から外れたが、課としての評価を聞きたい。

魅力創造課

町の審議会や会議の場で高く評価しているが、総合計画は全ての事務事業を記載するわけではないことから記載がなくなった。

前は定着していなかったこともあり、育成していくことも含めて記載していたが、4年経って継続的に取り組んでおり、文言は抜けたが課としては継続していく。

委員

成果指標について、魅力創造課の地域コミュニティに役場が積極的に関わっていくと捉えたが、成果を見るにあたり「芽室町を好きな町民」の割合を、成果指標に入れることが施策に直結するのかがわからなかった。

コミュニティの在り方を図っていく施策かを効果的に聞ける指標になればと思う(意見)

委員

ホットボイスで町内会加入を役場職員から強要されたという記事を見かけたが、そういう一部の声に負けることなく住民自治を進めてもらいたい。

総合計画で住民自治を進めていくと定めているので、頑張ってもらいたい(意見)

⑤ 効果的・効率的な行政運営

事務局より説明。

委員

職員の担い手不足について、自治体としてどう考えているか？

総務課

芽室町で現状は発生していないが、全国的には発生している状態。

将来的なリスクを加味して、業務効率化や DX 化等を駆使しながら備えていきたい意味の記載。

委員

成果指標①の全体的な数を成果指標にするのはどうなのか？

1つ1つの施策の達成度が大事であり、政策推進課で E ランクを作らないような呼びかけや B 以上を作る施策を行っているのか？

政策推進課

政策推進課が E ランクを作らないみたいな発信はしていない。

もし審議会等で E がついたものは、もらった意見から努力をしていく。

委員

個別で指導するのか？

政策推進課

審議会等の中で、指摘を頂いている為、次年度に向けて改善していく。

委員

政策推進課の評価になるのかなと疑問に思った次第である。

委員

4の成果指標の基準値が最新の数字と最新じゃないものが混ざっているので、作る時は最新のものをに入れてほしい(意見)

終了

閉会